

月並みですが、懇談中に親子げんかが起きてしまった。進路について家庭でもっと話し合ってもらうなど、懇談前に何か工夫するべきでした。(大阪府・瀬田浩一郎先生)

面談をもっと頻繁にやればよかった。積極的な声かけが必要だと反省。放課後面談を1日一人、時間を切らずにすると、何人かから驚くような意外な情報が入ってくるので大事。(富山県・K.H先生)



生徒の考えを話させようとする、我慢できなくなり、ついつい口を出して誘導してしまいます。もっと我慢し、生徒が自分の考えを話せるような指導を心がけたいですね。(宮城県・及川俊浩先生)



生徒から頼られすぎてしまうことがある。時には厳しく突き放すことも必要。(福岡県・南正起先生)



外部に依頼した進路講演の際、本校の進路指導方針と矛盾するデータが入っており、その後混乱した(しかもたった1つ)。外部に講演を依頼する際は、細部まで内容のチェックをする必要性を痛感した。(静岡県・稲葉渉先生)



生徒と保護者に、「この成績と出欠状況では就職は難しいかもしれません」と話してしまった。仮に難しくても「最後まで就職できるよう応援します」というスタンスをとるべきでした。結局その生徒はアルバイト先から「指名求人」をもらい、自力で就職。学校ではパツとなくとも、外では高い評価を得ていました。(千葉県・B先生)



生徒の成績だけを優先して、生徒の真の進路希望を十分にくみ取れず、相談に十分な時間をかけられなかった。(大阪府・C先生)



進路指導、私の工夫 となりの知恵袋



テーマ：進路指導 私の失敗

ネット閲覧可

WEBサイトには紙面に載せきれなかったヒントも掲載
キャリアガイダンス.net >>「[進路指導、私の工夫](#)」をチェック!